

平成30年3月9日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

<b>標 題</b>	<b>デンマーク製草刈りロボットを導入 in 出雲市佐田町！ ～傾斜45°の法面も刈っちゃうよ！～</b>
------------	---

(ダイジェスト)

3月2日、出雲市佐田町内において、新たに導入されたラジコンハンマーナイフモア（草刈りロボット）の実演会が開催され、関係者約40名がその操作性と機動性に関心を寄せました。

同時にトラクター用アーム式草刈機も導入されており、互いの機械の強みを生かしながら、中山間地域における草刈り作業の省力化を図ることにしています。

中山間地域の出雲市佐田町内にある株式会社「未来サポートさだ（8営農組合で構成）」では、畦畔の草刈り作業が規模の維持・拡大の阻害要因になっており、その軽減が喫緊の課題となっています。

こうした中、本年度のJAしまね農業振興支援事業を活用して両機械が導入されるとともに、新たに「耕放支援隊」を組織され、同作業の省力化と耕作放棄地の発生防止を図ろうとされています。

導入された草刈りロボットの概要は次のとおりで、主な選定理由は機体の大きさの割に作業能力が高く、1.5tトラックで移動できるからとのことでした。

**【デンマーク製草刈りロボットの概要】**

- ・製品名：Lynex(リネクス) SX 1000
- ・価 格：410万円
- ・仕 様：幅153cm 長さ152cm 刈り幅100cm 高さ90cm 重量295kg  
馬力23HP 速度Max5km/hr

今回の実演会は昨年繁茂した枯草を刈るという条件的に恵まれない中で行われたため、刈り残しやクローラーの横滑りなどが見受けられましたが、夏場の生草での作業であれば、期待される能力を十分に発揮することができると感じました。

今後は人手による刈払機並みの料金（1,200円/a）で作業を請け負うこととし、初年度（平成30年度）は100万円程度の収入を見込んでおられます。

佐田町内ではこの他にも、センチピートグラスを用いた除草対策が行われており、当普及部ではこれらの手法を検証しながら、各地域の土地条件等にあった草刈体系を検討し、提案していくことにしています。



説明する山本代表



両機械の作業状況